

平成 21 年度 産婦人科後期臨床研修医のご案内

はじめに

1. 一緒に気持ちよく仕事ができることを大切にします。
2. その中で信頼される臨床医に成長していただくことを目標とします。
3. 具体的には、専門（認定）医を取得するための技術・知識も習得していただきます。
4. 特色のある他施設（主に慶應関連施設他）での短・中期研修も検討可能です。
（慶應大学病院、さいたま市立病院、東京医療センター他）
5. 研修期間は希望を踏まえて相談に応じます。（3、4、5年）

産婦人科医として必要な総合的な能力を養うことを目標にしています。研修期間は日本産科婦人科学会認定専門医の資格取得のための期間として算定されます。専門医の申請資格については日本産科婦人科学会のホームページをご覧ください。

実績

1. 分娩件数 : 445 (H19年 帝王切開 160 : 腹腔内・腹腔外)
2. 手術件数 : 約200 (帝切を除く、癌根治術・腹腔鏡・子宮鏡・膣式を含む)
3. 予定手術は帝王切開も含めて麻酔科管理で施行(小手術を除く)

研修環境

1. スタッフ : 副院長兼産婦人科部長(経験27年/主に産婦人科、細胞診専門医)
副部長 (経験16年/主に産婦人科、細胞診専門医)
医員 (経験11年/主に産科・生殖)
2. 小児科常勤医 : 2名(増員努力中) NICUなし

業務環境

1. 外来 : 3単位/週 (初診・産科健診を含む)
2. 当直 : 目安は 平日1回/週、 土日1回/月
(スタッフがオンコール、状況によりW当直します。)
3. 拘束等 : 経験値を高める目的でスタッフ当直でのオンコール推奨

問合せ先(研修内容関係)

副院長 高橋 峰夫 電話03-3833-8381(代表)